

水産振興センター

1 漁獲可能量と漁獲実績の推移

単位:トン

年	沖合			沿岸			合計		
	配分枠	漁獲量	実績(%)	配分枠	漁獲量	実績(%)	配分枠	漁獲量	実績(%)
平成7年	85	53.3	62.8	85	88.7	104.4	170	142.0	83.6
平成8年	110	81.3	73.9	110	157.2	142.9	220	238.5	108.4
平成9年	180	153.3	85.1	180	290.8	161.6	360	444.1	123.3
平成10年	300	178.5	59.5	300	436.8	145.6	600	615.3	102.6
平成11年	400	143.0	35.7	600	579.1	96.5	1,000	722.1	72.2
平成12年	400	260.3	65.1	600	901.8	150.3	1,000	1,162.1	116.2
平成13年	520	511.9	98.4	780	986.3	126.4	1,300	1,498.2	115.2
平成14年	680	380.7	56.0	1,020	1,570.1	153.9	1,700	1,950.8	114.8
平成15年	960	903.9	94.2	1,440	2,058.6	143.0	2,400	2,962.5	123.4
平成16年	1,000	787.7	78.8	1,500	2,348.7	156.6	2,500	3,136.4	125.5

平成10年以降は管理漁期(9~翌6月)データ。

・配分枠に対し、沖合で78.8%、沿岸で156.6%、全体で125.5%の実績となった。

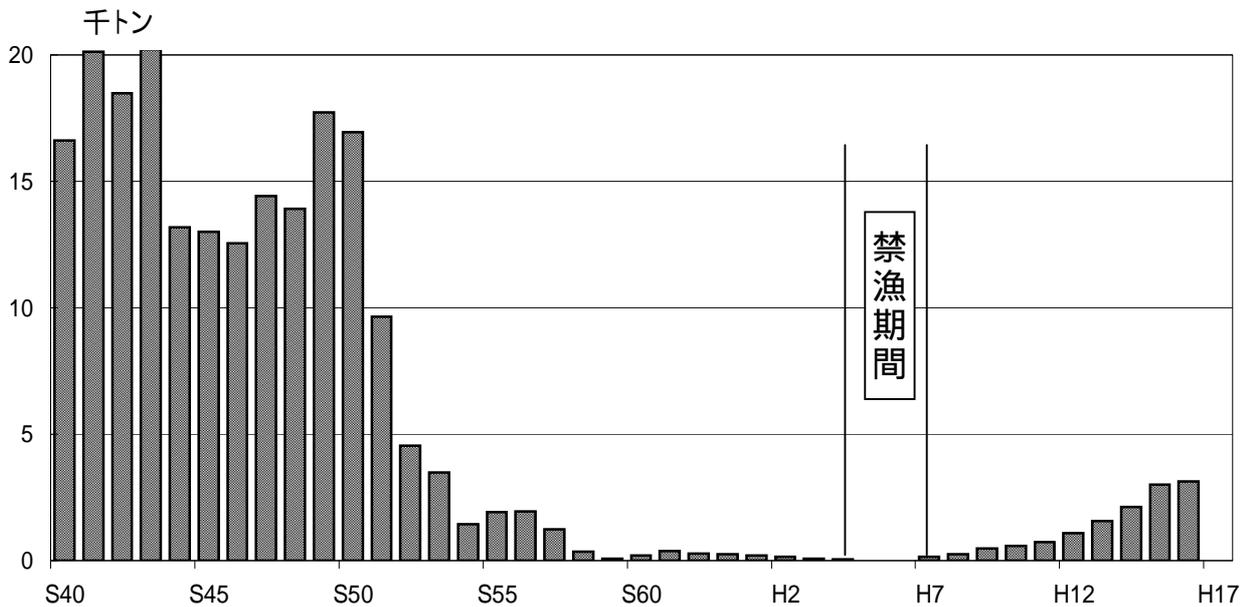


図1 秋田県の八タ八タ漁獲量の推移

・平成16年の漁獲量は3,134トン(暦年分、水産漁港課調べ)。  
 ・平成7年の禁漁解除以後の最高値を更新したものの、前年比では105%と最も低い伸び率となった。

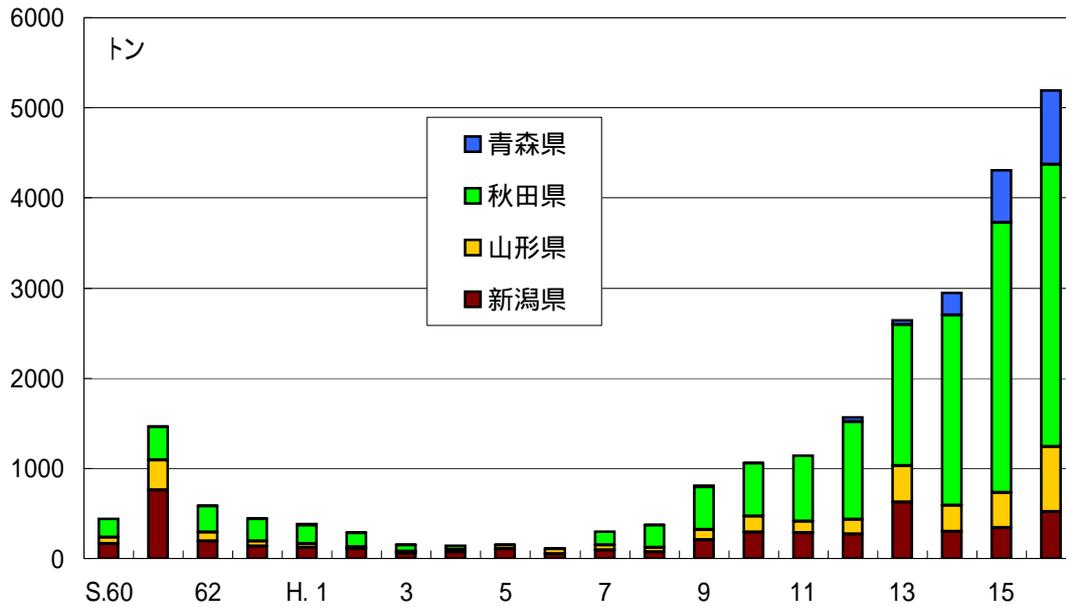


図2 日本海北部4県漁獲量の推移

- ・4県の合計は5,189トンで前年比120%となった。5,000トン超は昭和53年以来26年振り。
- ・県別には青森821トン、山形720トン、新潟519トンで、各県の前年比は140～180%。
- ・青森・山形両県では沿岸でも漁獲され、沿岸分は青森782トン、山形62トン。

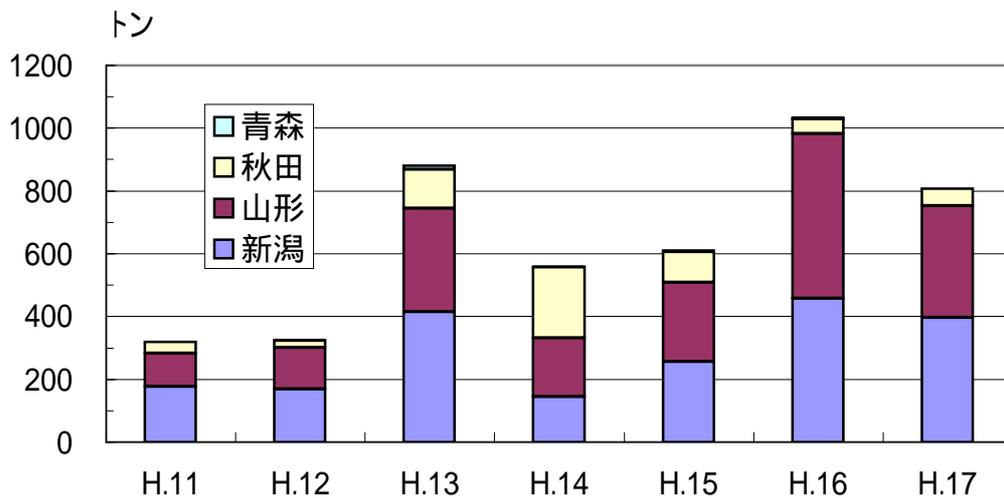


図3 1～6月の日本海北部4県底びき漁獲量

- ・本年1～6月の日本海北部4県の漁獲量は、807トンと前年同期比では78%と減少している(秋田県55t,116%山形県356t,68%、新潟県396t,87%)。
- ・しかし、近年では高い水準である。

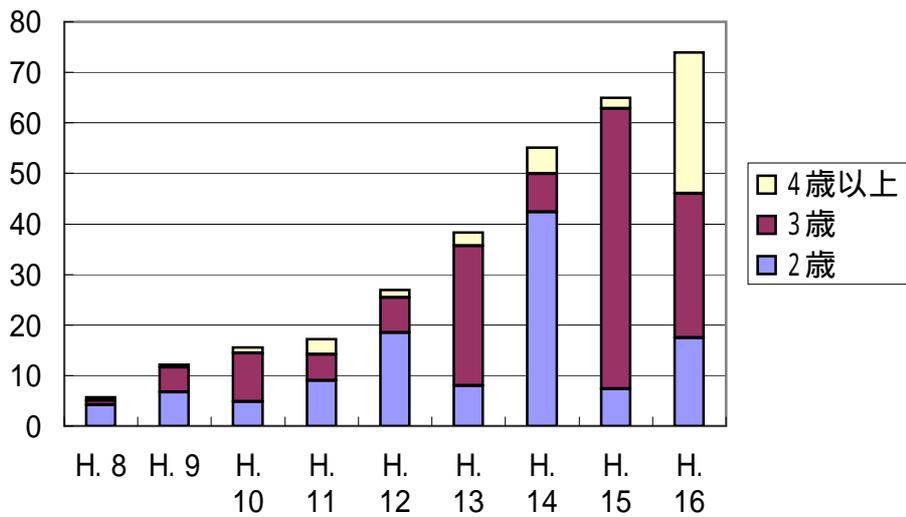


図4 日本海北部系群の年齢別漁獲尾数の推移

- ・16年漁期は、4歳魚以上(H.13年級主体)の割合が例年になく高く、15年漁期の獲り残しが多かったことがうかがわれる。
- ・しかし、17年漁期には、この卓越年級は自然死亡により衰退すると考えられる。

(尾 / 操業 ; 対数值)

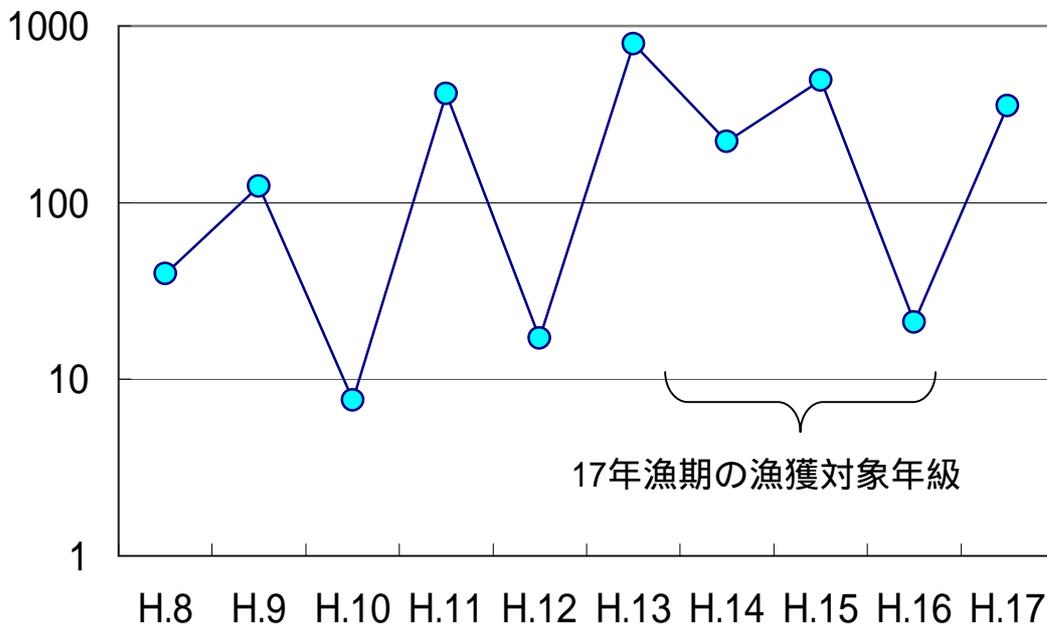


図5 北浦沖(20~60m)の稚魚採集尾数の推移

- ・1曳網当たりの稚魚採集尾数の推移から、新規加入するH.16年級は少ないと推察される。

## 漁獲対象資源量の推定

・平成17年漁期の日本海北部系群ハタハタの年齢組成は、おおむね平成14～16年生まれの3群によって構成される。

・今漁期、初めて加入する平成16年生まれ(本年2歳魚)は、産卵量は多かったものの稚魚までの生き残りが悪かったと推察される年級であり、その資源量は近年では少ないと考えられる。このため、平成15年生まれ(3歳魚)が主群となると推察する。また、16年漁期の年齢組成から、平成14年生まれ(4歳魚)の豊度も比較的高いと見られる。

・近年最大の卓越年級である平成13年生まれは、16年漁期の年齢組成では例年になく大きな割合を占めたものの、17年漁期には衰退するものと考えられる。

・以上の考察に基づき、17年漁期の本県海域の年齢別資源尾数を、2歳魚が平成10年級あるいは平成12年級程度の加入水準と想定し約2千8百万尾、3歳魚約3千万尾、4歳魚約1千2百万尾と推定し、これから漁獲対象資源重量は約5,100トンと算定される。

# 平成17年度季節八タ八タ漁況予報

資料 2

平成17年11月12日  
秋田県水産振興センター

## 1 初漁日

### (1) 成熟度の推移

八タ八タのメス成熟度(生殖腺重量/内臓除去重量×100)が20に達した日と八タ八タの初漁日との間には正の相関が観察され、成熟度が20に達した日が早ければ初漁日も早いという関連が認められる。本年は10月22日にこの指数が20に達している。したがって、前年(平成16年)よりは1日早く、平成14年、15年及び平成7年の10月21日に比べると1日遅いものの、成熟が非常に早い年に属している。

メス成熟度が20に達した日が平均(10月28日)より早い年の初漁日は、平成13年以前にはおおむね12月2日~7日の間に認められているものの、平成14年以降は、さらに成熟及び初漁日が早くなっている。

本年の初漁日は、成熟度と初漁日との関連に回帰直線を当てはめると、12月2日±2日辺りと推定されるものの、平成14年以降の傾向を考慮すると、さらに2日程度早まることも考えられよう。

### (2) 海況と気象

本県底びき漁場周辺における11月上旬の水温観測結果では、100m以深ではおおむね「平年並み」となっているものの、10~50m層水温が平年に比べ「かなり高め」~「はなはだ高め」であり、平年との差は+1.5程度に達している。今後、この水深帯の水温の低下が急速に進まない場合は、接岸の遅延要因となると考えられる。

11月4日発表の気象予報によれば、「東北地方の向こう1か月間の平均気温は平年並か高い」、「日照時間は平年並」とされ、急速に海水温を低下させる要因は見られない。海水温の低下は平年並みかより緩やかに進むと考えられる。

### (3) 初漁日の推定

初漁は、成熟度で示される生理的条件と、海水温13以下という水温条件の両方が満たされる時に認められる。本年は、11月上旬時点の水温が50m以浅層で平年を上回って高く、八タ八タ親魚の接岸にはこの水深帯の水温低下の動向が影響するものと考えられる。

また、初漁日は大潮の前後に多い傾向も認められる。今期の新月は12月2日、満月は12月16日で、前者の大潮の時期(11月30日~12月2日)が成熟度の推移から推定される初漁日と一致している。

これらの条件を勘案すると、50m以浅層の水温が急速に低下し接岸の阻害要因とならなければ、本年の季節八タ八タ初漁日は、成熟度と初漁日の関連、加えて近年のさらに早まる傾向、大潮との関連などから、11月30日±2日の早い時期に見られると推定する。

## 2 魚体組成

県調査指導船「千秋丸」の底びき網試験操業により採捕した八タ八タの9~11月の体長組成は、オスで16.5cm(3歳魚)、メスで18.5cm(3歳魚)付近にモードが認められ、平成15年漁期と類似の、単一年級が優占する構成となっている。

小型の2歳魚については、接岸期にかけ増加するものの、資源量が少なく、大きな割合を占めることにはならないと考える。

本年漁期は、中型の3歳魚が主体の銘柄組成となると推察する。



表1 成熟度によるハタハタの初漁日予想状況

年度	成熟度が 20を超えた日	初漁予想日	入網 (先発群)	初漁日
昭45	10/18			12/ 2
46	10/20			12/ 1
47	10/27			11/23
48	10/19			11/25
49	10/24			11/23
50	10/26			12/ 1
51	10/26			11/28
52	10/26			12/15
53	-			12/ 4
54	10/26			12/17
55	11/ 1			12/ 2
56	10/27			12/11
57	10/26			12/15
58	10/27	12/ 7±5		12/ 5
59	10/30	12/ 9±5		12/ 4
60	10/31	12/10±5		12/12
61	10/28	12/ 5±5		12/ 4
62	10/24	12/ 1±5		12/ 5
63	10/28	12/ 7±6		12/ 2
平 1	10/30	12/ 8±4	12/ 7北浦	12/13
2	10/29	12/ 7±4	12/ 4北浦	12/ 6
3	11/ 4	12/12±4	12/14北浦	12/15
4	11/ 2	12/12±3	12/16北浦、岩館	(12/16)
5	11/ 7	12/17±3	12/13北浦	(12/13)
6	11/ 5	12/15±3	12/12八森、能代	(12/18)
7	10/21	12/ 6±3	12/ 3北浦	12/ 8
8	11/6	12/14±3	12/ 3北浦	12/ 9
9	10/27	12/ 6±5	12/ 4北浦	12/ 4
10	10/27	12/ 6±4	12/ 7八森、岩館	12/7
11	10/30	12/ 9±4	12/ 5北浦	12/14
12	11/5	12/16±5	12/ 6北浦	12/ 8
13	10/26	12/ 4±5	12/ 1北浦	12/5
14	10/21	12/ 5±3	11/28船川港	11/28
15	10/21	12/1±2	11/27北浦、五里合	11/27
16	10/23	12/3±2	11/28北浦、船川、八森、岩館	11/29

成熟度=生殖腺重量 / 内蔵除去重量 × 100

初漁日: 1箱未満でも初セリが行われた日

( ): 禁漁期間中のモニタリング調査

表2 底びき漁場付近の11月上旬の水溫

入道崎沖5マイル(St.1)

年	0m	10m	20m	30m	50m	75m	100m	150m	200m	300m
H.4	17.7	17.98	17.97	17.94	17.94	17.36	15.19	11.68	4.55	1.36
H.5	18.4	18.39	18.23	18.16	18.07	17.81	15.99	13.00	7.22	1.55
H.6	19.3	19.35	19.41	19.36	17.69	15.73	13.84	10.52	5.42	1.41
H.7	19.8	19.78	19.80	19.59	19.59	18.79	14.79	10.45	5.52	1.26
H.8	18.5	18.45	18.44	18.45	17.81	15.29	14.41	9.95	5.30	1.73
H.9	18.3	18.30	18.31	18.32	18.42	18.60	17.28	12.31	6.18	1.66
H.10	19.5	19.60	19.60	19.50	19.40	18.90	17.10	12.40	4.30	1.30
H.11	18.7	19.20	19.10	19.20	19.20	19.20	18.00	11.20	5.00	1.40
H.12	20.4	20.20	20.20	20.20	20.20	16.40	14.10	8.00	3.10	1.20
H.13	17.9	18.56	18.57	18.57	18.55	16.48	13.20	8.92	4.44	1.09
H.14	18.0	18.71	18.71	18.74	18.72	18.57	17.42	12.98	8.25	1.66
H.15	17.8	18.56	18.96	19.16	19.30	19.28	19.21	13.44	5.86	1.74
H.16	18.8	19.16	19.16	19.16	18.34	13.70	11.51	8.28	4.05	1.27
平均	18.7	18.92	18.94	18.93	18.74	17.70	15.88	11.24	5.43	1.45
H.17	19.0	20.27	20.27	20.27	20.30	17.66	15.22	9.98	5.07	1.51
偏差	37	204	199	206	202	-2	-30	-69	-26	30
	平年並み	はなはだ高い	かなり高い	はなはだ高い	はなはだ高い	平年並み	平年並み	やや低い	平年並み	平年並み

松ヶ崎沖14マイル(St.12)

年	0m	10m	20m	30m	50m	75m	100m	150m	200m	300m
H.4	18.5	18.56	18.65	18.73	18.68	16.29	15.36	11.36	6.64	1.62
H.5	18.9	18.89	18.85	18.65	18.50	18.10	16.33	12.94	7.23	1.48
H.6	19.6	19.56	19.57	19.57	19.57	16.31	15.13	12.68	4.25	1.31
H.7	20.7	20.69	20.70	20.70	20.51	19.58	15.25	9.89	4.44	1.17
H.8	19.1	19.05	19.05	19.05	19.05	16.27	14.44	11.94	6.44	1.52
H.9	18.6	18.58	18.58	18.59	18.50	18.36	17.88	11.93	7.19	1.37
H.10	19.4	20.10	20.10	20.10	20.10	19.90	19.90	12.00	5.80	1.40
H.11	19.7	19.90	19.90	19.90	19.90	19.50	17.20	11.10	6.00	1.40
H.12	19.9	20.10	20.10	20.00	20.10	17.00	15.20	10.50	3.80	1.40
H.13	18.4	18.69	18.69	18.71	18.79	18.02	15.78	10.43	6.57	1.26
H.14	17.7	17.90	18.00	18.00	18.00	18.00	16.20	11.50	5.80	1.40
H.15	19.9	19.68	19.67	19.50	19.34	19.31	18.75	12.79	5.77	1.33
H.16	18.9	19.53	19.42	19.38	19.40	15.72	13.68	9.03	3.83	1.55
平均	19.2	19.31	19.32	19.29	19.25	18.07	16.45	11.59	5.83	1.39
H.17	20.1	20.11	20.13	20.12	20.66	17.64	15.76	11.36	7.34	1.37
偏差	113	102	105	109	186	-29	-39	-19	125	-15
	やや高い	やや高い	やや高い	やや高い	かなり高い	平年並み	平年並み	平年並み	やや高い	平年並み

松ヶ崎沖39マイル(St.13)

年	0m	10m	20m	30m	50m	75m	100m	150m	200m	300m
H.4	15.4	15.39	15.37	15.27	15.18	14.58	12.07	4.73	1.96	0.78
H.5	18.6	18.57	18.58	18.58	18.58	18.13	15.95	14.09	9.13	2.14
H.6	20.0	19.99	19.97	19.88	18.72	16.39	15.18	11.79	9.65	2.31
H.7	20.3	20.32	20.27	20.20	20.08	19.46	14.86	8.98	3.84	1.23
H.8	19.2	19.17	19.17	19.17	19.16	16.42	15.20	11.47	6.59	1.72
H.9	18.4	18.44	18.45	18.45	18.46	18.48	17.35	13.25	8.61	2.02
H.10	18.8	18.90	18.70	18.60	19.00	16.80	15.20	8.90	3.60	1.30
H.11	18.9	18.80	18.80	18.80	18.90	19.50	16.80	10.90	7.10	1.90
H.12	19.5	19.70	19.70	19.60	18.30	15.70	13.50	10.30	6.50	1.60
H.13	17.5	17.59	17.58	17.58	17.58	17.27	14.34	6.82	2.66	1.13
H.14	18.1	18.20	18.20	18.20	18.20	17.50	15.60	11.40	7.50	1.90
H.15	19.4	19.12	19.00	18.99	18.80	17.98	14.87	9.09	3.70	1.34
H.16	19.3	19.24	19.22	19.22	19.13	13.58	11.82	7.44	3.96	1.23
平均	18.7	18.68	18.65	18.61	18.41	17.35	15.08	10.14	5.90	1.61
H.17	19.8	20.02	20.02	20.02	20.09	17.07	15.20	10.82	6.52	1.79
偏差	90	108	111	114	146	-16	8	26	24	39
	やや高い	やや高い	やや高い	やや高い	かなり高い	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み

偏差: 100 × (水溫 - 平均水溫) / 標準偏差

- + 200以上…… はなはだ高い
- + 131 ~ 200…… かなり高い
- + 61 ~ 130…… やや高い
- ± 60以下…… 平年並み
- 61 ~ 130…… やや低い
- 131 ~ 200…… かなり低い
- 200以下…… はなはだ低い

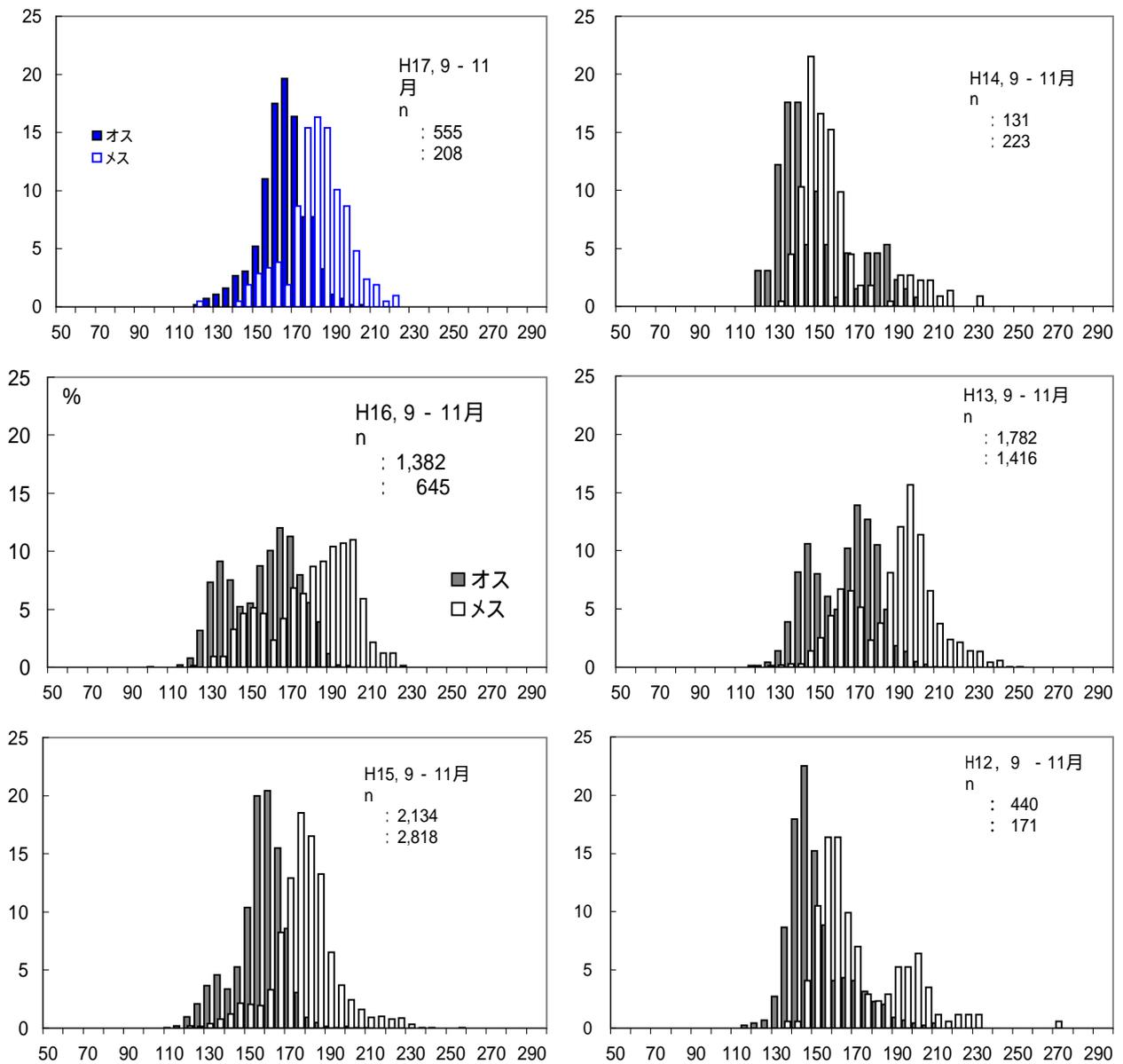


図3 9～11月の千秋丸底びき網試験操業によるハタハタ体長組成

- ・オス16.5cm、メス18.5cm付近にモードを持つ3歳魚主体の年齢組成となっている。
- ・2歳魚の割合は少ない。

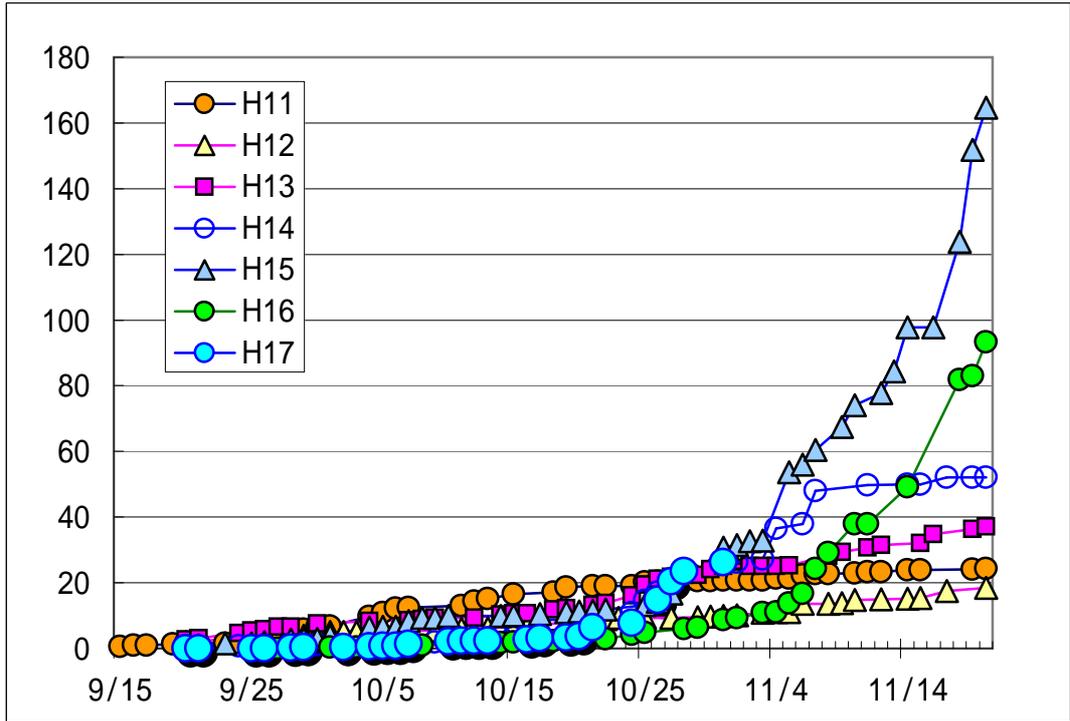


図4 底びき網による累計漁獲量(9月以降)

・本年10月31日現在の累計漁獲量は26.3トン。  
 ・低調な漁模様がが続いていたものの、10月下旬以降は急速に復調し、前年同期の約3倍となっている。

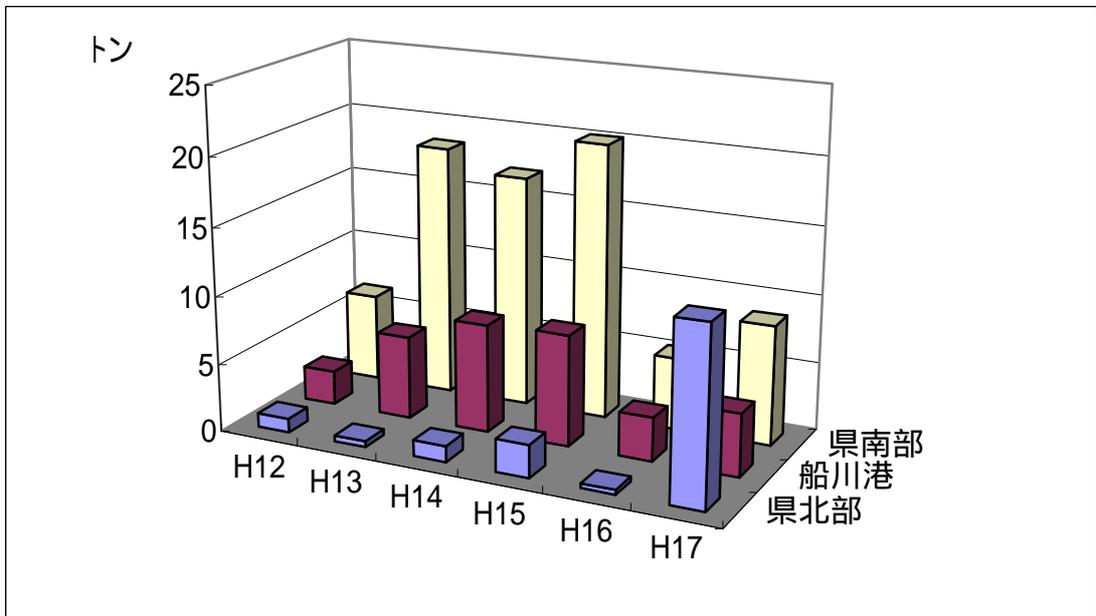


図5 9～10月の地区別水揚げ状況

・この時期、例年は水揚げの少ない県北部(岩館・八森)で好漁となっている。  
 ・漁獲量とその平年比は、県北部12.9トン(12倍)、船川港4.6トン(0.8倍)、県南部8.8トン(0.7倍)。